ガンマ線バースト]時観測システム

WIDe-field telescope for GRB Early Timing

恩田香織*1、玉川徹*1、寺田幸功*1、臼井文彦*3、浦田裕次*1.4、田代信*5、阿部圭一*5、藤原英明*6、三浦直也*6、廣瀬匠*6、 他WIDGETチーム

*1理化学研究所 *2東京理科大学 *3ISAS/JAXA *4東京工業大学 *5埼玉大学 *6東京大学

ガンマ線バーストGRB990123では発生から47秒後に8.9等もの明るさを持つ可視光フラッシュが観測された。 このよう な可視光フラッシュを観測するため、我々はGRB探査衛星 HETE-2と同じ視野を常にモニターする広視野自動望遠 <mark>鏡システムWIDGET</mark>(WIDe-field telescope for GRB Early Timing)を立ち上げ、 2004年6月から東京大学附属宇宙 線研究所明野キャンパス[図1]にて本格的なリモート観測に入った。これによりGRB発生以前から可視光フラッシュの 振る舞いを観測することが可能になった。

WIDGFT概要

WIDOLIMS		
検出器(CCDカメラ)	Apogee Alta U10 [図2]	
チップ	Atmel THX7899 [図4]	
フォーマット	2048 x 2048 pixel	
画素サイズ	14.0 × 14.0 μ m	
受光サイズ	28.7 × 28.7mm	
電子冷却	周囲温度-45 (最大)	
電子効率	38% @720nm [図4]	
インターフェース	USB2.0	
CCD制御	The random Factory Instrumentscamera drivers (Linux)	
	Diffradtion Limited MaxIm Plus (Windows)	
ホスト計算機	Pentium4/2.4GHz : RedHat Linux9 · WindowsXP Professional	
データサイズ	8Mbyte/frame	
読み出し速度	~ 5秒/frame	
光学系	キャノン 超広角レンズEF24mm F1.4L USM [図2]	
フィルター	(初期運用時)ノーフィルター	
フィルターマウント	光映舎 52mm径用特注	
視野	62 ° × 62 ° [25,6]	
空間分解能	1.8arcmin	
レンズフード	自作 (内側:黒色植毛紙貼付 外側:つや消し塗料塗付)「図2」	
架台	高橋製作所 NJP-temma2赤道儀 [図2]	
架台制御	Linux-RS-232C経由	
	HETE-2運用情報は、MIT/CSR (Center for Space Research)	
	より取得(http://space.mit.edu/HETE/)	
観測小屋	特注スライディングルーフ(L3m×W2m×H2m) [図3]	
	ヒューマンコム天文台事業部との共同開発	
	電気制御による開閉/雨滴センサ・停電時の自動全閉	
リモート制御	ADSL ~ 50kbps	
監視システムなど	監視モニター: ワテック WAT-100N/ロジクール QV-400	
	雨滴センサ: アスザック AKI-1805	
	温度計: セイコー S8100	
	湿度計: TDK CHS-UGR	
	気圧計:フジクラ XFPM115-KPAR	
時刻付け	NTP(Network Time Protocol)	
	電波時計	



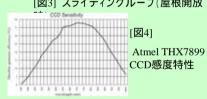
「図1」 東京大学宇宙線研究所附属明野観測所・ME1/WIDGET設置場所より 南アルプスを望む(東経138度30分 北緯35度47分 標高900m)

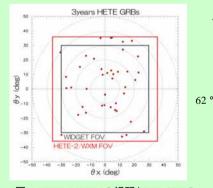


[図2] 架台・カメラ・レンズ・レンズフード

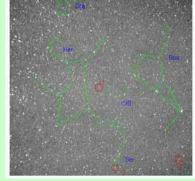


[図3] スライディングルーフ(屋根開放





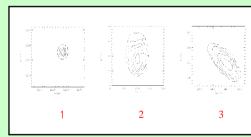
[図5] HETE-2/WXMの視野とWIDGETの 視野。(赤丸:WXMによって位置が決定 されたGRB(3年間)) HETE-2が検出す るGRBのおよそ80%が視野に入る



62° [図6] WIDGETで撮影した スカイイメージ

[図8] WIDGETシステム での限界等級とGRB

アフターグローのライト カーブを重ねたグラフ。 GRB990123では非常に 明る〈輝いたのWIDGET システムでもとらえること が可能。GRB021211や GRB030329ではバースト 発生後 数分間のライト カーブを外挿すると、 WIDGETシステムの限界 等級を超える。



[図7] 中心と隅におけるPSFのゆがみ ([図6]の数字の恒星に対応)

限界等級	10.4等 (5秒積分)
(S/N=3)	11.6等 (30秒積
年間観測数	約5イベント

CCD温度: - 20 , V-band換算

- ☆ 現在、理化学研究所からのリモート観測を 行っている。
- ☆ 10月に打ち上げられるSwift衛星の視野 (HETE-2の約3倍)をカバーするため、U-10 を2台に増設中

